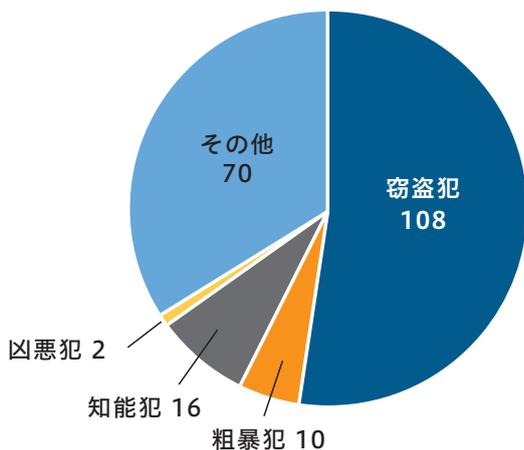


特集

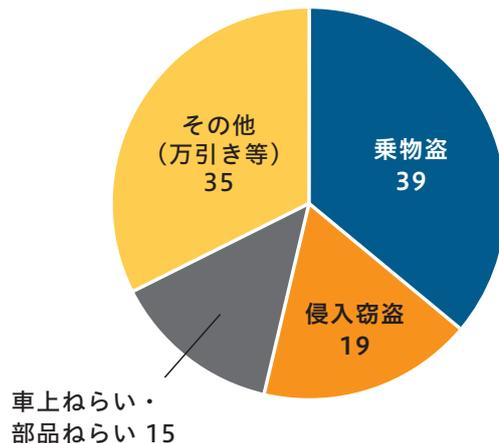
犯罪からたいせつな家族を守るために

令和2年中に市内で発生した犯罪件数は、警察が把握しているだけでも206件あり、1週間に約4件の犯罪が発生していたことになります。

その中で最も多く発生した犯罪は、他人の物を盗む**窃盗**です。窃盗による被害の中でも乗物盗(自転車・自動車・オートバイ)、侵入窃盗、車上ねらいが特に多く、これらの犯罪の被害に遭わないよう防犯への意識を高め、対策を行いましょう。



市内の犯罪件数



市内で発生した窃盗犯の内訳



犯罪を未然に防ぐために



防犯推進委員にご協力いただき、特殊詐欺被害防止のチラシを配るようす



市内で発生する犯罪は、年々件数が減少していますが、無くなったわけではありません。

刑法犯認知件数の大半を占める窃盗や暴行、強制わいせつ、詐欺、悪質商法など、身近に発生する犯罪を未然に防ぐには、市民の皆さん一人ひとりが高い防犯意識を持ち、自分の身の回りから防犯対策を行うほか、地域コミュニティによる防犯活動が重要です。

市では、安全で住みよい地域社会の実現を目指し、「防災無線や安心安全メールを活用した防犯情報の発信」、「安心安全マップの作成」、「防犯推進委員、事業者、自主防犯組織などによる防犯パトロールの支援」などを行っています。

引き続き防犯意識の高揚を図り、市民協働のもと、犯罪の機会を減らす取組を実施してまいります。

窃盗被害に遭わないために

自転車盗への対策



2つ以上の鍵を用意しましょう

鍵を壊すことにちゅうちょしない犯人は、目撃されるリスクをおそれ、犯行に時間をかけることを嫌います。

そのため、2つ以上の鍵で施錠された自転車は、非常に狙われにくくなります。

また、可能であれば、鍵のひとつは他の構造物に固定することで、より盗まれにくくなります。

車上ねらいへの対策



① 車内や自転車に荷物を置き去りにしない

犯人は、ガラスを割ってでも犯行に及びます。カード類やスマートフォンなど何でも標的になるので、車内の見える場所に荷物を置かないようにしましょう。

また、自転車の場合も、荷物を置き去りにしないようにしましょう。

② 車から離れるときは、必ず施錠

わずかな時間であっても、施錠していない車は真っ先に狙われます。

また、「車内が暑くなるから」、「手が入らない程度だから」といって窓を少しでも開けていると、簡単な工具で開錠されてしまいます。

車を離れる時は、必ず施錠し、窓は完全に閉めましょう。



侵入窃盗への対策



① 在宅中でも必ず施錠

家人が在宅中でも侵入されるケースがあります。「家に人が居るから」、「すぐに戻ってくるから」と施錠しないのは絶対にダメ！2階の窓も施錠しましょう。



③ 防犯用品で犯人を撃退

振動を感知して大きな音で犯人を威嚇する「警報機」、人が近づくと点灯する「センサーライト」など、場所に応じた防犯用品を活用しましょう。



② 家の周りは見通しを良く

人目を遮る高い塀や植栽は、格好の隠れ場所です。また、灯油タンクなどは足場として利用される場合もあります。家の周囲を点検し、死角や足場となるものを極力なくしましょう。



④ 「地域の目」で安全な街にしよう

ふだんからあいさつや声掛けを励行するなど、近所付き合いを大事にしましょう。

白岡1西北区での取組

ける安心安全への取組についての基本的な考え方が住民の皆さんの心に定着していただければと思います。



白岡1西北区
青色防犯パトロールカー

これからも、行政区として、地域の安全のため、見守りや防犯パトロールなどの活動を続けていきたいです。

地域における安心安全への取組についての基本的な考え方が住民の皆さんの心に定着していただければと思います。

青色防犯パトロールは、自動車で青色点滅灯を点灯させながらパトロールするもので、もともと、地域の皆さんが防犯パトロールを実施していましたが、より効果的な方法が無いかと久喜警察署に相談したところ、この防犯パトロールを紹介されました。車両は個人所有のもので、パトロール用に登録をしています。

パトロールは区長や区長代理、班長をはじめとする地域の皆さんで、季節にかかわらず、毎週金曜日の午後6時から7時までの1時間、行政区内を隔々まで巡回しています。

白岡1西北区では、平成25年度から青色防犯パトロールを実施しています。



白岡1西北区
河合区長